

2025 年 10 月 6 日

Well-being Initiative 参画企業、SWGs 宣言を共同発表 ～人・社会・地球の調和による持続可能なウェルビーイングの未来をめざして～

森永乳業は、Well-being Initiative の参画企業として 2030 年に目標期限を迎える SDGs の次なる国際アジェンダとして、「SWGs (Sustainable Well-being Goals)」宣言を策定し、本日参画企業と共同で発表しました。SWGs は「人」「社会」「地球」が調和し、正の遺産を次世代に残すことをめざす未来志向のゴールです。本宣言では、人・社会・地球の主要領域におけるウェルビーイングの方向性を提示し、大阪・関西万博のテーマウィーク「SDGs+Beyond いのち輝く未来社会」に合わせて万博会場内で開催された「第 7 回日経 Well-being シンポジウム」にて発表しました。



**2030年達成目標である
SDGsの次なる
国際アジェンダを。**

SWGs
Sustainable Well-being Goals

宣言

また、3文字のアルファベットを使った略語が出てきた。そう思う方もいるかもしれませんが、けれどこのSWGs、これからの未来を考える上での重要なキーワード。「Sustainable Well-being Goals」の略になります。この世界から、分断・格差・環境破壊をなくしていくには、どうすればいいのか、行き過ぎた規模の拡大を抑えるには、どうすればいいのか、抜け落ちていたのは、Well-beingの視点、SWGsは、Well-beingの視点から持続可能な世界を目指す未来志向のゴールです。SDGsは、将来世代に負の遺産を残さないための、国連が掲げ62030年までの目標。SWGsが目指すのは、将来世代に正の遺産を残すための、2030年以降に掲げる国際アジェンダです。そのために、私たちWell-being Initiativeでは、5年の歳月をかけて、官民学一体で議論・推進してきました。たとえば、既存のGDP(国内総生産)では捉えきれない、一人ひとりのWell-beingを測定する指標として、GDW(Gross Domestic Well-being / 国内総充実度)を開発、四半期調査を実施、発表してきて取り組みも、そのひとつです。そして本日、大阪・関西万博にて、企業の規模を超えた18社が共同で、SWGs宣言を発信します。日本発の概念を、世界へ、日本が昔から大切にしてきた「和」の精神を、Well-beingな世界への架け橋にしていこう、私たちはこのSWGs宣言が、未来を大きく変える確かな一歩になる、と信じています。宣言の全文はこちら

人と社会と地球の調和による、持続可能なウェルビーイングの未来へ

参画企業ロゴ: W, Asahi, EY, NBC, TOKAI, TOYOTA, TOSHIBA, FUJIFILM, KDDI, NTT, YAMATO, DENSO, etc.

【「SWGs (Sustainable Well-being Goals)」宣言について】

SWGs (Sustainable Well-being Goals) は、SDGs の次なる国際アジェンダ候補として、2030 年以降を見据えたビジョンです。「人」「社会」「地球」の三位一体の調和を重視し、「負の遺産を残さない」から「正の遺産を創り出す」ことへの転換を目指します。本宣言は、参画企業が共同で採択し、「流域」や「FR (Future Generations Relations)」といった新しい視点も取り入れ、日本発の国際的なアジェンダ創出をリードしていくことを目指します。

*以下 SWGs 宣言の一部抜粋

● SWGs による価値創出

人のウェルビーイング: 現役世代だけではなく、将来世代もふくめて、主観的にも客観的にも充実した状態

社会のウェルビーイング: 地域固有の文化や経済が尊重され、活力があり、平和な状態

地球のウェルビーイング: 環境保全・再生と自然との共生を基軸にした持続可能な状態

●SWGs 宣言の全文は以下で公開

https://well-being.nikkei.com/news/swgs-declaration_20251006.pdf



【賛同者一覧】

- ・アサヒ飲料 米女 太一 代表取締役社長
- ・味の素 佐々木 達哉 取締役執行役専務 (コーポレート本部長)
- ・EY Japan 永吉 正郎 チーフ・タレント・アンド・ウェルビーイング・オフィサー
- ・江崎グリコ 上野 理恵 執行役員 サステナビリティ戦略室室長
- ・NEC ソリューションイノベータ 石井 力 取締役 会長
- ・MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス 船曳 真一郎 取締役社長 グループ CEO
- ・住友生命保険 高田 幸徳 取締役 代表執行役社長
- ・東京きらぼしフィナンシャルグループ 渡邊 壽信 代表取締役社長 グループ CEO
- ・TOPPAN ホールディングス 坂井 和則 取締役副社長執行役員 CHRO
- ・豊田合成 宮崎 直樹 取締役会長
- ・日清食品ホールディングス 後野 和弘 執行役員 フューチャーフード担当 博士(工学)
- ・日本航空 斎藤 祐二 代表取締役副社長執行役員・グループ CFO
- ・日本たばこ産業 妹川 久人 執行役員 Chief Sustainability Officer
- ・パーソルホールディングス 和田 孝雄 代表取締役社長 CEO
- ・丸井グループ 青井 浩 代表取締役社長 CEO
- ・三井住友トラストグループ 高倉 透 取締役執行役社長
- ・森永乳業 大貫 陽一 代表取締役社長

ほか

【有識者からのコメント】

・鈴木 寛 氏(東京大学公共政策大学院教授 兼 ウェルビーイング研究ユニット代表)

国連が掲げた SDGs は 2030 年がターゲットで、その次をどうすべきか？まさに Beyond SDGs の議論が世界中で本格化するのに先駆けて、大阪・関西万博から世界に発信された SWGs 宣言は、今後の地球史・世界文明史に大きなインパクトを与えるであろう。

仏のサルコジ元大統領がノーベル賞学者らを招聘し、提唱した「Beyond GDP」の考え方が、OECD の BLI(Better Life Index)、国連の World Happiness Report や Summit of The Future などに引き継がれ、そうした流れに呼応して、すでに日本においては、中央・地方政府が Wellbeing を最重要政策目標として掲げ、GDP と並ぶ社会指標として GDW(Gross Domestic Wellbeing)の調査と公表を学会が主導し、企業・産業界が経営やビジネス展開のなかで SWGs を強力かつ広

範に具体化してきている。こうした産学官が和をもって未来を共創している姿を世界中に示し、今後は、未来世代とも連帯・協働し、希望に溢れた Wellbeing な地球と社会を響創する、こうした活動を本格的に始動していくのが、この SWGs 宣言である。

・蟹江 憲史 氏(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授 SFC 研究所 xSDG・ラボ代表 Keio STAR 副所長)
今回宣言された SWGs の考え方には、人類が持続可能な形で生き続けるためにとても大事なことが盛り込まれていると思います。そこには人間が持続可能に生きるための考え方だけではなく、生物としての人間が地球上で生き続けていくための視点も盛り込まれています。

まずは日本の中で、多くの人が共有できる価値としての認識が高まれば、それを国際的にも発信していけるでしょう。社会システムが大きく変わろうとしている現在、将来何をめざすのか、明確なビジョンを持つことが大事になっています。丁度現在、2030 年を超えた 50 年後、あるいは 2100 年を視野に入れた社会のあり方を考える「ビヨンド SDGs プロジェクト」を始めました。ぜひこれから SWGs の考え方も含め、議論を活性化できればと思います。

【「SWGs」宣言の発出に向けた活動について】

●各社経営陣が集い、調印式を実施

「SWGs」宣言の発出に向け、2025 年 10 月 2 日に参画企業各社の経営層が参加するミーティングをホテルニューオータニにて開催しました。ウェルビーイングの最新動向を踏まえ、将来に向けたビジョンの共有と、参加者による調印を行いました。

●新聞広告にて発表

2025 年 10 月 6 日(月)の日本経済新聞・朝刊の新聞広告にて、「SWGs」宣言について発表しました。



【日本版 Well-being Initiative について】

「日本版 Well-being Initiative」は、株式会社日本経済新聞社と株式会社電通が主宰し、公益財団法人 Well-being for Planet Earth および有志の企業や有識者・団体等と連携し 2021 年 3 月に立ち上げた企業コンソーシアムです。本イニシアチブでは、Well-being(実感としての豊かさ)を測定する新指標開発やウェルビーイング経営の推進、政府・国際機関への提言、Well-being を SDGs に続く世界的な政策目標に掲げることを目指しています。

<日本版 Well-being Initiative オフィシャルサイト> <https://well-being.nikkei.com/about/>

【森永乳業グループのウェルビーイングへの取り組み】

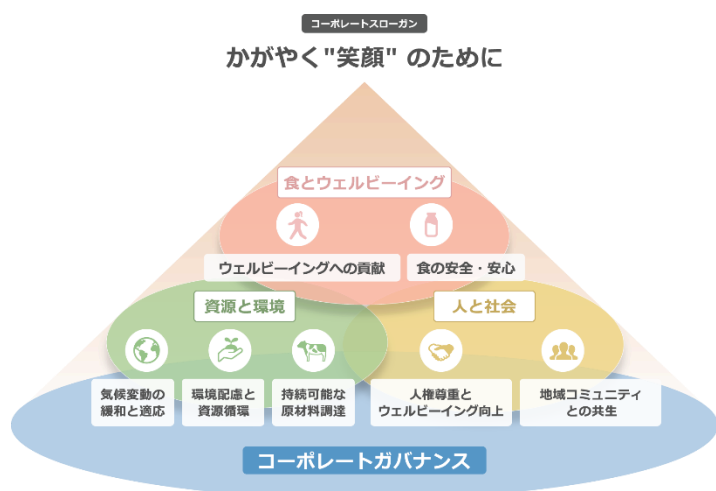
森永乳業グループでは、社内のサステナビリティガバナンス体制として、サステナビリティ推進会議に紐づくかたちで「ウェルビーイング部会」を 2023 年 7 月に立ち上げ、私たち(社員)と人びと(国内外の生活者の皆さま)のウェルビーイング向上に取り組んでおり、その一環として「Well-being Initiative」に参画しています。

現在、そのシンボリックアクションとして、将来世代と経営層が積極的に対話する FR 活動(Future Generations Relations)

※を開始しています。昨今、サステナビリティ経営を求める投資家の評価においても、人的資本経営や社員のウェルビーイング向上への関心が高まっています。このような状況を受け、森永乳業グループでは、重要なステークホルダーに、未来を担う「将来世代」を加え、「FR」活動を展開しています。

これからも、「食と健康でつくるかがやく“笑顔”」をテーマに、森永乳業グループの将来を担っていく世代の意見や考えを経営に活かしてまいります。

※「FR」は、株主や投資家向けに行う活動「IR(Investor Relations)」に倣った造語で、将来世代(Future Generations)と対話し関係性を築く活動を意味しています。



【理念－活動体系図】



【ウェルビーイングステートメント】

■森永乳業グループのウェルビーイング活動

2022 年 8 月 ウェルビーイングステートメント検討会の発足

2023 年 1 月 ウェルビーイングステートメント確定

2023 年 3 月 ウェルビーイングステートメント社内外公開

<https://www.morinagamilk.co.jp/corporate/vision/well-being/>

2023 年 4 月 「日本版 Well-being Initiative」参画

2023 年 7 月 ウェルビーイング部会発足

2024 年 7 月 「FR」(Future Generations)活動開始

https://youtu.be/DS_cpb6_l7A?si=1lxTFRFdxzkk4tMj

以上